

2023年度

# ファンドレイジング従事者に対する ファンドレイジングの取り組みに関する意識調査

2023年6月20日(火)

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会

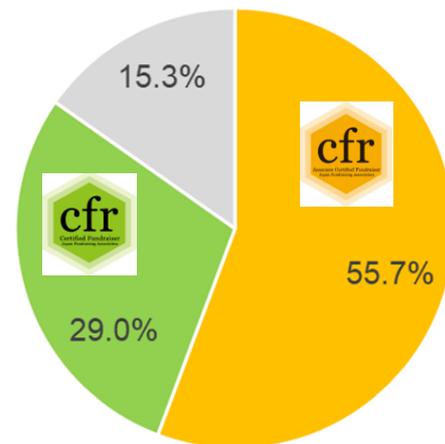
# 調査概要

期間:2023年6月2日～6月9日(8日間)

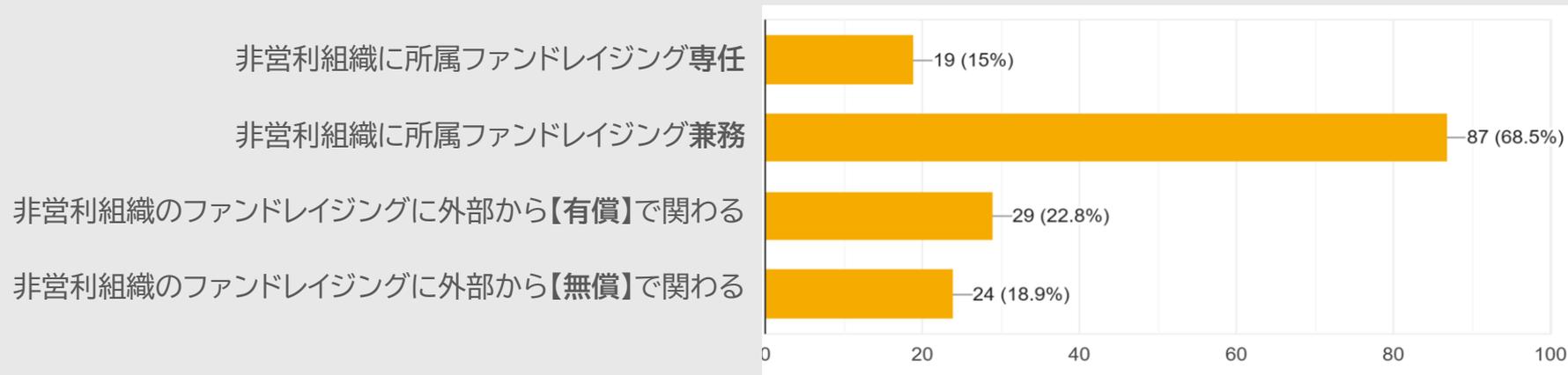
対象:日本ファンドレイジング協会会員でありファンドレイジングに従事されている方  
(資格の有無、有償・無償は不問)

回答数:131件

- 准認定ファンドレイザー資格を保有している
- 認定ファンドレイザー資格を保有している
- 資格は保有していない



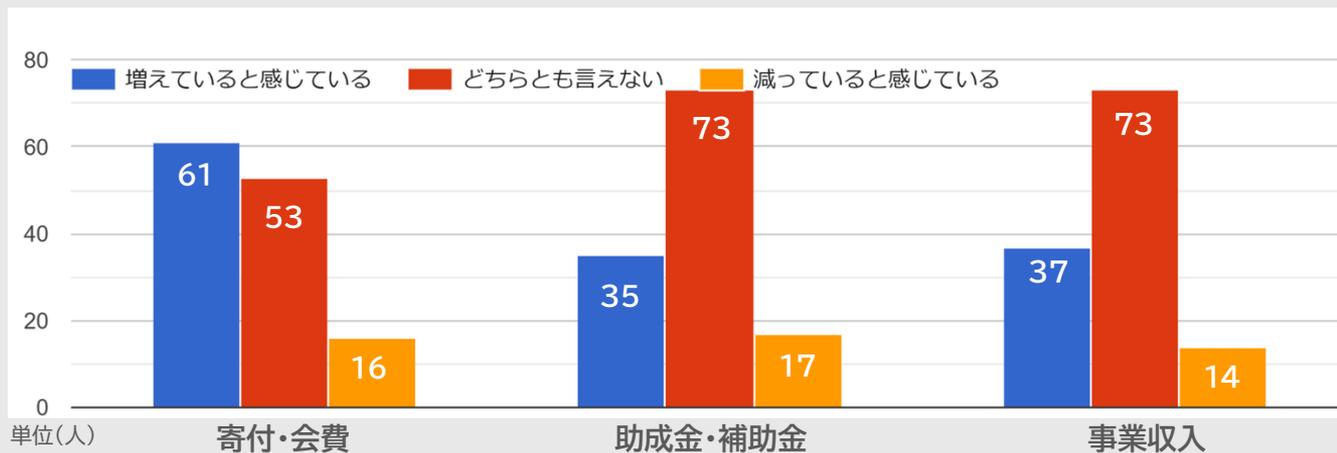
## Q1. 現在のファンドレイジング従事状況を教えてください(複数回答可)



### <結果>

非営利組織に所属し、ファンドレイジングと他の業務を兼務している方が68.5%と最も多い

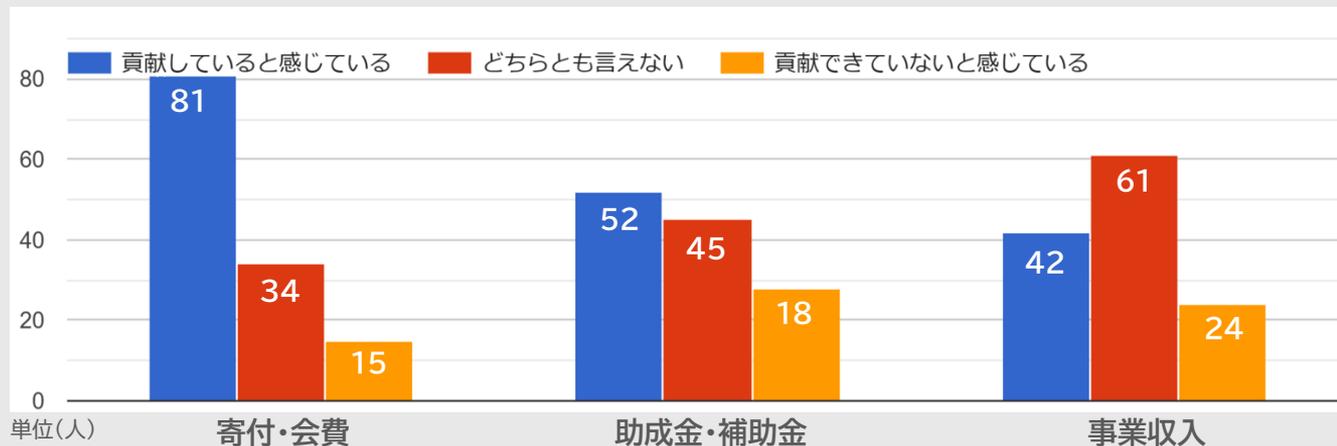
## Q2. 一年前と現在を比較して、あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織の資金調達状況についてのあなたの認識を教えてください。



### <結果>

寄付金・会費の調達状況は一年前に比べて増えていると感じている回答が最も多い  
助成金・補助金ならびに事業収入に関しては昨年と同水準と感じている回答が最も多い

### Q3. あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織の現在の資金調達状況に対してあなたの貢献度を教えてください。

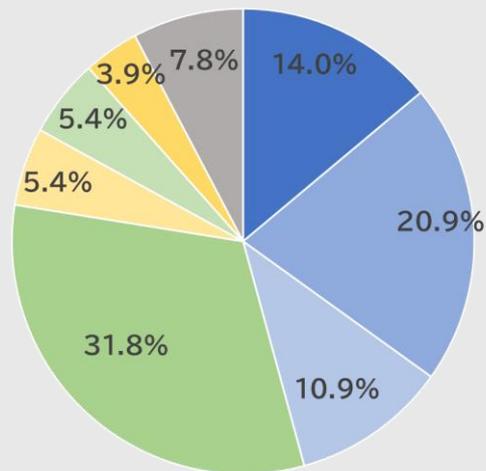


#### <結果>

Q2.で昨年より増えていると感じるといった回答が一番多かった寄付金・会費の調達状況に対して「貢献していると感じている」回答が最も多い

助成金・補助金に関しても「貢献していると感じている」回答がもっとも多い

## Q4. 一年前と現在を比較した、あなたの収入の状況と今後の見通しについて教えてください。

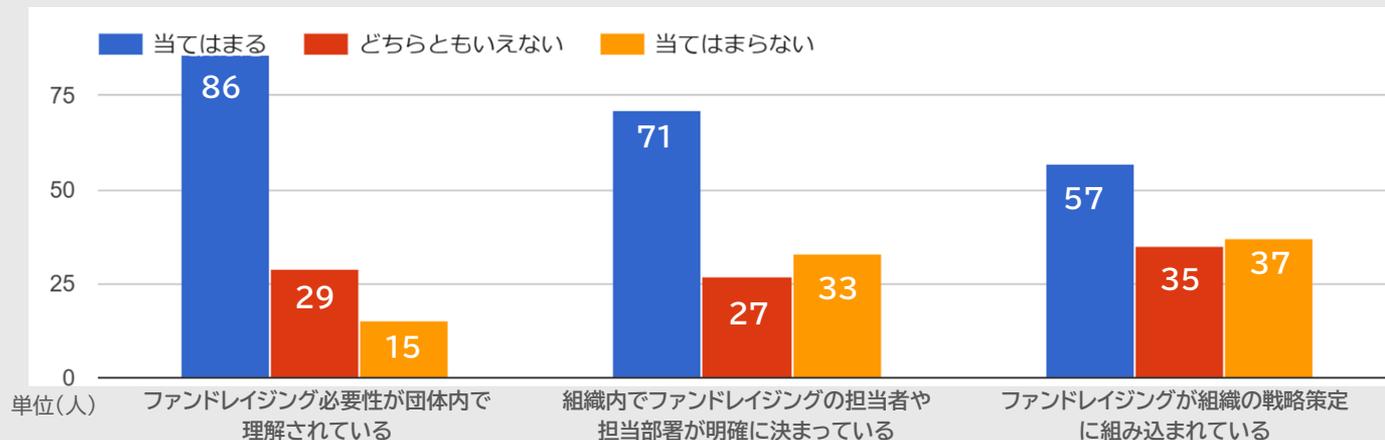


- 収入は**増えて**おり、今後もさらに**増加**と感じている
- 収入は**増えて**おり、今後も**維持**されると感じている
- 収入は**変わらない**が、今後は**増加**と感じている
- 収入は**変わらず**、今後もそれが**維持**されると感じている
- 収入は**変わらない**が、今後は**減少**と感じている
- 収入は**減少**しているが、今後は**増加**と感じている
- 収入は**減少**しており、今後も**減少**と感じている
- 回答しない、報酬を受け取っていない

### <結果>

一年前と比較して「増えている」「変わらない」「増加すると感じてる」が合わせて70%以上である  
「減少している」「減少すると感じている」「報酬を受け取っていない」が合わせて22%以上である

## Q5. 現在、あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織のファンドレイジングの取り組み状況について、あなたの意識を教えてください。

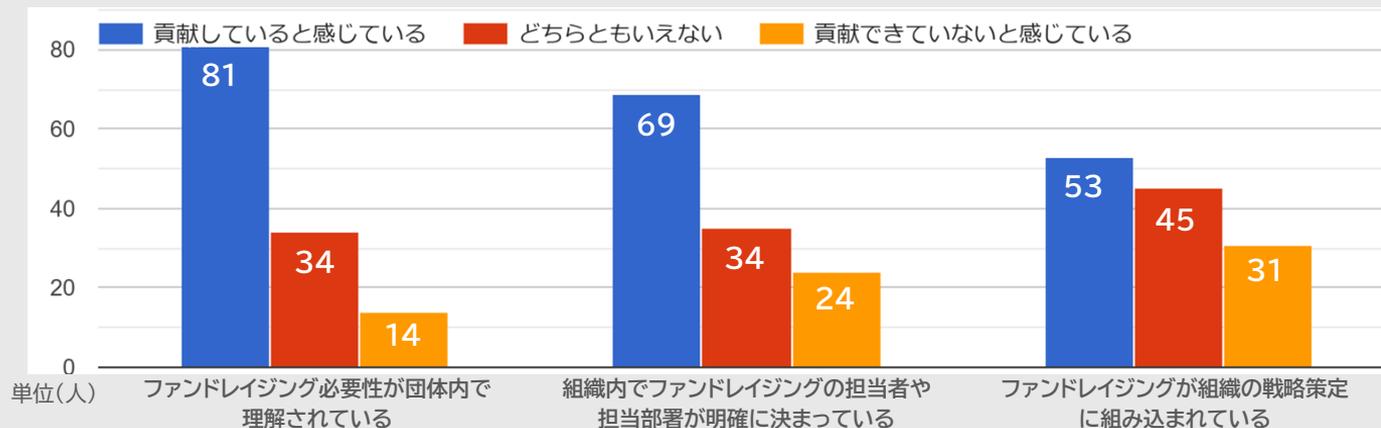


### <結果>

全ての項目で「当てはまる」の回答が最も多い

「ファンドレイジングが組織の戦略策定に組み込まれている」のみ当てはまるの数字が若干低い

## Q6. 現在、あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織のファンドレイジングの取り組み状況について、あなたの貢献度を教えてください。



### <結果>

Q5.で「あてはまる」の回答が最も多かったすべての項目で「貢献していると感じている」回答が最も多い

Q7. ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に期待していることがあれば教えてください(自由回答/一部抜粋)

① 認知拡大(ファンドレイザー・ファンドレイジング) 22件

- ファンドレイザーという名前の存在感(ステイタス)を社会でもっと広めてほしい。
- 社会にファンドレイジングそのものの認知を拡げていただきたい。
- 認定ファンドレイザーの社会的な認知度の向上
- ファンドレイザー・ザ・ムービーつくしましょー！ カッコいいのを。そこは最終としつつ、ファンドレイザーエピソードを集めていくのはありかも。
- メディアへの露出度アップ。認定制度のグレードアップ。
- 社会に必要であり、貢献度の高い存在として、さらに社会的な理解を深めるとともに、社会における地位の向上も必要だと感じます。JFRAに期待しつつ、一人一人が同じ思いで、尽力していくことが大切だと思います。引き続き、よろしくお願いいたします。

ファンドレイザーやファンドレイジングの認知拡大のための働きを期待する声が最も多い

## Q7. ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に期待していることがあれば教えてください(自由回答/一部抜粋)

### ② 事例の共有・情報発信 16件

- ファンドレイジングを日本語訳通りの単なる「資金調達」と捉えてしまっている人や団体も多いので、寄付者をはじめとするステークホルダーとの「コミュニケーション」や「関係構築」の実践事例を研修やジャーナルなどでもっと紹介・可視化してほしい。
- これまでどおり、ファンドレイジングのプロフェッショナルの集まりとしての資格の格の維持、最新情報・知識の提供に加えて、海外の事例・取り組み・潮流などを学びたいです。
- ファンドレイザーとしての経験や知識・スキルアップにつながる情報や機会の提供を期待しています。例えば定期的な寄付動向についての調査と結果共有、ファンドレイジング施策についての個別事例の共有、専門性を持つ先輩ファンドレイザーに相談できる機会の提供など。
- 地域における活動団体が事例として参考にできるファンドレイジング実装例の集積

ファンドレイザーの学びのためのファンドレイジング成功事例の共有や情報発信を望む声も多い

Q7. ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に期待していることがあれば教えてください(自由回答/一部抜粋)

### ③ 寄付文化の醸成 / 団体への働きかけ 各4件

- 寄付教育。昔からある寄付文化の顕在化と新たな寄付文化の創造。
- 寄付を促す啓発・施策や仕組みの政府への提言等
- 日本の寄付文化がさらに盛り上がるよう、地道に活動いただけると幸いです。
- ファンドレイザー以外(もっと上の層)への働きかけを協会には期待したい。
- 理事層限定の研修会を協会主催で開催していただけると助かります。「トップマネジメント」など、理事層のハートをくすぐるワードを使っていただけるとちゃんときいてくれる気がします。
- 団体内へのファンドレイジングの浸透の手法を学べる場が欲しい
- 地域社会のファンドレイジングを知らない社会福祉協議会に来ていただき、講演会、勉強会を開催してもらいたいです。

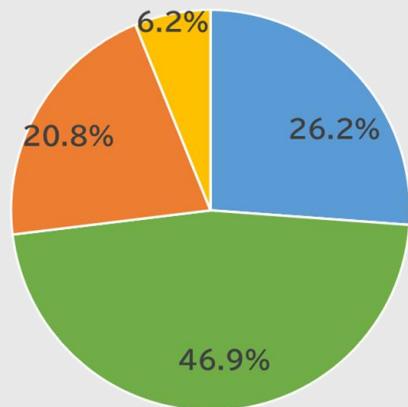
団体に対しての具体的な働きかけの提案もあった

## Q7. ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に期待していることがあれば教えてください(自由回答/一部抜粋)

### その他

- 民間と非営利の交流をもっと促進する
- ファンドレイジングの取組み方法や新しい考え方の共有。最近話題のChatGPT活用事例なども共有して欲しい。
- ファンドレイザーとして生計を立てている方の収入面などのモデルなどを示してほしい。
- 小さな団体で業務をいくつも兼任しているため、ファンドレイジングに集中することはできないが、ファンドレイジング協会から送られてくるメルマガで意識を立て直すことができます。これからもファンドレイザーたちを鼓舞させるメルマガをお願いします。
- 有資格者の専門業務策定のロビー活動など、この資格の価値を上げるような取り組み。
- すでにあるとは思いますが、資格の取得にとどまらず、経験と実践を積む機会が多く用意されること。ビギナーのファンドレイザーが一步を踏み出すしかけづくり。

## Q8. 2023年1月に施行された「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律」について、法律へのあなたの理解状況を教えてください。

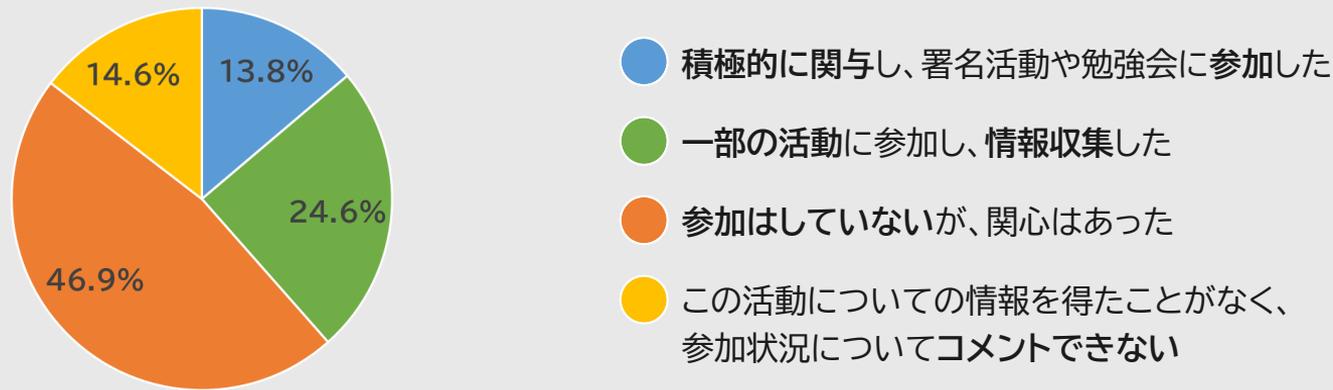


- 十分に理解しており、法律の要件と遵守すべきルールを適切に把握している
- 一部理解しているが、具体的な要件や遵守すべきルールについては良くわからない
- 法律についての理解が不十分であり、具体的な要件や遵守すべきルールを把握していない
- この法律についての情報を得たことがなく、理解状況についてコメントできない

### <結果>

十分に理解している・一部理解している回答が全体の73%以上である  
理解が不十分、情報を得たことがない回答は全体の27%である

Q9. 法律の制定にあたり、慎重な議論を政府に求めるための政府への働きかけや法律が及ぼす想定外の影響を把握するために、当協会は共催5団体とともに署名活動や勉強会を行いました。あなたの参加状況について教えてください。

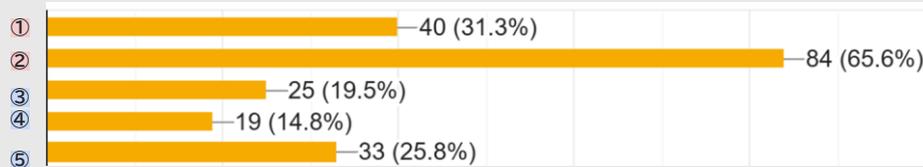


<結果>

積極的に関与し、活動に参加した、一部の活動に参加したが合わせて38.4%である  
参加はしていないが関心はあったと合わせると、70%以上の方が法律制定前から関心を寄せていた

## Q10. (内容の理解を問わず)「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律」が、 ファンドレイジングの取り組みに与える影響について、次のような印象をお持ちでしょうか？ (複数回答可)

- ① 寄付者は不当な勧誘やプレッシャーにさらされることなく、自身の意思に基づいて寄付を行うことができると思う
- ② 寄付を募る団体は、適切な手法や情報提供を行うことで、社会的な信頼を築くことができると思う
- ③ 寄付の手続きが煩雑になり、寄付者が寄付することをためらうようになると思う
- ④ 寄付金の使途に関する説明が複雑になり、寄付者が適切な情報を得ることが困難になると思う
- ⑤ これまで寄付によって支えられていた困難な状況にある人たちに対して柔軟な支援活動が制限されると思う



### <結果>

法律制定に対して比較的前向きな印象(回答①、②)を持っている方が多い一方で、後ろ向きの印象(回答③、④、⑤)を持っている人も一定数いる  
複数回答のため、前向き・後ろ向きそれぞれの印象を選択しているかたが多かったのも傾向の一つである

Q10. (内容の理解を問わず)「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律」が、  
ファンドレイジングの取り組みに与える影響について、次のような印象をお持ちでしょうか？  
(自由回答/全文)

- 寄附の用途をより一層明確に示すが必要になると思う。
- 軌道に乗っている団体は十分な情報を提供できるかもしれないが、余力のない団体が信頼を勝ち得るまでの活動が少しやりにくいというか、余計な不安を与えるシーンも出てくるように思う。
- 活動と寄附が組み合わさったような柔軟な寄附募集など、制限がかかる可能性があると思う。多様な寄附ができなくなることを危惧している。
- ファンドレイジング初心者の個人やこれから力を入れていこうとしている団体が、この法律の存在や成立の経緯を知った時に、寄附集めへの心理的ハードルを上げる一因になるかもしれないと考えています。
- 遺贈など大型の寄附をいただく活動をしたことがなく、あまりイメージを持っていません。
- よくわからない
- 法律や制度を法の主旨に基づいてどのように適切に使うかは自分たちの行動のあり方にもかかっていると思っています。